

1	6/24 (火)	*「松戸のいまを知る」～地域社会の変化と市民活動の関わり～	● 阿部 剛 (まつど市民活動サポートセンター)
2	7/8 (火)	“こどもまんなか”とはどのようなことか?ゼロベースで考えてみる	◆ 山田美和さん (NPO法人MamaCan) 桑田久嗣さん (NPO法人カタリバ)
3	7/22 (火)	高齢者が元気に地域で過ごすための暮らしづくり	◆ 堀田重信さん (河原塚ことぶき会) 高橋弘美さん (まつど地域活躍塾6期修了生)
4	8/2 (土)	実地体験オリエンテーション・マッチング	● 実地体験先団体の皆さん
5	8/26 (火)	「市民活動×町会・自治会」で新たな地域づくり	◆ 西野高嶺さん (北松戸町会) 小林康夫さん (南花島第二町会) 井坂千穂さん (きたまつどごみぜろくらぶ)
6	9/9 (火)	ユースの育ちを地域で支える、居場所づくりの実践から	◆ 石川静枝さん (NPO 法人さんま) 二村たかえさん (さくら広場)
7	9/23 (火祝)	ワークショップ①「対話の基本を学ぶ」	● 齋藤和輝 (まつど市民活動サポートセンター)
8	10/14 (火)	同じ街で共に暮らしていく～障害の有無に関わらず～	◆ 新井丈晴さん / 古山彩花さん (ユニバーサル・ピア) 小泉朋子さん (活躍塾8期修了生)
9	10/25 (土)	多文化共生とはどういうこと?	◆ 上村 カルロスさん (NPO 法人 AMIGO PROJECT) 松戸市国際推進課 / グローバルコミュニティーまつど
10	11/11 (火)	地域共生社会を目指した松戸の取り組み	◆ 宮間恵美子さん (支援者つながるカフェ) 松村大地さん (一般社団法人 Mi-Project)
11	11/25 (火)	活躍塾 OBOG に聞く! 自分ではじめる市民活動	● 阿部由紀子さん (おとなの寄り道処〜 On y va!) 田村陽子さん (さんさんルーム) 中村貴憲さん (ハケ崎落語研究会)
12	12/6 (土)	*まつどみらいカイギ 2025	● 新しい暮らしスタイルを生み出す対話イベント
13	12/16 (火)	ワークショップ②「“これから”の活動を考える」	● 齋藤和輝 (まつど市民活動サポートセンター)
14	1/13 (火)	地域と市民活動をつなぐ役割/協働のまちづくり	● 松戸市市民自治課 阿部 剛 (まつど市民活動サポートセンター)
15	1/27 (火)	*修了式/自分×地域に関する活動のプレゼンテーション	● —

実地体験期間

【申込期間延長】
オンライン申請・窓口持参・E-mailの場合
6/23 (月) 10時まで
郵送の場合 6/20 (金) 必着
※定員に達し次第、締め切る場合があります

修了要件

本塾終了時に以下の要件を満たす方を
本塾修了生として認定いたします

 **講義・ワークショップ**
*印の回を除く
12回のうち6回以上参加

 **実地体験**
2日以上参加

 **個別面談**
コーディネーターとの
面談1回

募集要項・申込方法

対象	地域で活動する意思のある市内在住、在勤、在学の18才以上の方
定員	40名 (申込者多数の場合は選考あり)
受講料	5,000円 ※途中退塾の場合も払い戻しはできません
受講期間	2025 年6月24 日(火)～2026 年1月27 日(火)
申込期間	2025 年5月15 日(木)～2025 年6月16 日(月) 必着
申込方法	必要事項及びレポートを下記のいずれかで提出 レポートテーマ：まつど地域活躍塾で学び、実践したいこと (400 字以内)

- (1) **松戸市オンライン申請システム**から (QR から申し込みフォームへ入れます)
・「まつど地域活躍塾受講申し込み」フォームにて必要事項とレポートを入力してください
・オンライン申請システムのトップページからは
「手続き一覧(個人向け)」を選択し「活躍塾」と検索してください
※松戸市オンライン申請システムからのお申込みの方に限り、
受講料をキャッシュレスでお支払い可能
- (2) **申込書をダウンロードしてレポートと一緒に提出**
・郵送 ・サポートセンターへ持参 ・E-mail に添付のいずれも可
・申込書はサポートセンターまたは市ホームページよりダウンロード
(サポートセンターでは用紙も配布しています)

2025
6/16^①
必切!

オンライン申請



お申込み・お問合せ

まつど市民活動サポートセンター

〒271-0094 千葉県松戸市上矢切 299-1 松戸市総合福祉会館 1F
TEL | **047-365-5522** FAX | 047-365-5636
メール | hai_saposen@matsudo-sc.com
(件名に「活躍塾応募の件」とご記入ください)
WEB | <https://matsudo-sc.com/mjuku2025/>
開館時間 | 月～土曜 9:00-21:00 日曜 9:00-17:00
※第1・3 水曜日は休館
主 催 | 松戸市・まつど市民活動サポートセンター
(指定管理者：NPO 法人まつどNPO協議会)



まつど市民活動サポートセンターとは

「自分達の地域をより良くしたい!」という
想いをカタチにするために、コーディネー
ターが全力でお手伝いしています。2004
年の開設以来様々な市民活動の立ち上げ
支援を行っています。現在では940を超
える団体が届出しており、年間5万人が
利用している公設民営の施設です。

センター長 阿部 剛



まつど 地域活躍塾 MATSUDO CHIKI KATSUYAKU JUKU 2025

2025
6/24^①
開講!

【申込期間延長】

オンライン申請・窓口持参・E-mailの場合
6/23 (月) 10時まで
郵送の場合 6/20 (金) 必着
※定員に達し次第、締め切る場合があります

このまちで、
だれかと自分を
笑顔にしたい。



第9期生募集

主催 松戸市・まつど市民活動サポートセンター



住むだけの街を、 人生楽しむ街に。

まつど地域活躍塾は、松戸をより暮らしやすく魅力的な街にするために
地域で何か取り組みたいと考えている方のための塾です。
今、松戸市内にはあなたの力を必要としている場所がたくさんあります。
ご自身の経験やスキルを活かして、より良い街づくりに携わってみませんか？

まつど地域活躍塾 3つの特徴

1

地域を楽しむ仲間との つながりができる

同期の絆は塾が修了した後も大きな財産。さらに実地体験などを通して地域を楽しんでいる多くの方々ともつながることができます。

2

松戸市の地域の現状と 可能性が学べる

講義で登壇するゲストや実地体験先は、各テーマの最前線で活躍する方ばかり。いま地域で必要とされている生の声を聞くことができます。

3

コーディネーターが 全力サポート

カリキュラム全体を通して、まつど市民活動サポートセンターで様々な相談に応じているコーディネーターが皆さんの次の一歩を全力でサポートします。

こんな方におすすめ



子育てが
落ち着いたので
何か始めたい



定年をきっかけに
これからの生きがい
を見つけないか



地域での知り合いや
活動の仲間を
増やしたい

20～80代まで幅広い年齢層の方が受講されています！

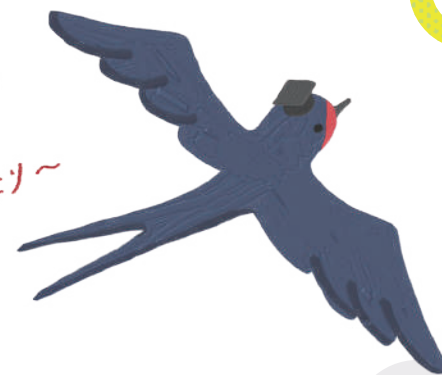
実地体験へ出かけよう！

講義と並行して8月～11月の期間に市内で活動する団体の活動へ実際に参加します。20余の団体が皆さんをお待ちしています。地域の居場所・子育て支援・子ども食堂・福祉・環境など多様なジャンルがあります。

【実地体験先例】 認定NPO法人外国人の子どものための勉強会／NPO法人子育てひろばほほわ
NPO法人さんま／NPO法人MamaCan／NPO法人さわかや福祉の会松戸くらしの助っ人／NPO法人まつどNPO協議会
NPO法人人材パワーアップセンター わくわくストレッチクラブ／一般社団法人銀座環境会議／一般社団法人Mi-Project
クロダマハウス／グローバルコミュニティーまつど／関さんの森を育む会／とうかつ草の根フードバンク／松戸里やま応援団
まつどゼロウェイスト／まつどでつながるプロジェクト運営協議会／明第2 東みんなの秋祭り実行委員会
岩瀬自治会・いわせちやや／紙敷中内薄浦町会／河原塚ことぶき会



修了生の声
～8期修了生の感想より～



森は宝の山。 里やま応援団へ行ってきた！

伐採した木が高く積まれていたり、カブトムシの幼虫がゴロゴロ出てきたり、宝の山だと思いました。この環境を守りたいと思ったし、この財産を活かすことはできないかと思いました。実地体験先の里やま応援団 一起の会は最年長が86歳、最年少が73歳という話を聞き、若い世代の仲間を増やすためにどんなことが必要なのか考えていこうと思っています。



中島さん

これからの人生が 見えてきた！

私のグランドシニア人生を、どう生きていこうか？ と思っていた時にまつど地域活躍塾を知って参加を決めました。様々なボランティア活動を知って、自分のやりたい活動が見つかりました。これからのボランティア人生が決まって満足しています。



大本さん

講義＋ワークで 理解が深まる！

テーマを絞り、実際活動されている講師の方々からの生の声を聞いたことが良かったです。又、質疑応答の時間を設けてもらったので、より理解が深まったと思いました。テーマに関してのグループ討論は、最初は初対面の方々なので少し戸惑いましたが、慣れてくると自分の考えをまとめる良い機会となりました。



豊田さん

現役世代としても 向き合いたい！

申込時は子育てや子どもたちに関する地域の現状と課題を知り、自分ができることの発見を目標にしました。子育て、障害、高齢者、外国ルーツ、環境といったテーマは地域社会だけでなく、企業も取り組むべき課題です。市民／地域住民としてだけでなく、現役で仕事をしている世代のひとりとしても、これらの課題に向き合っていきたいと思っています。



山下さん

あたたかい場所づくりに 取り組みたい

実地体験で行ったクロダマハウスではレコードを通じた交流がありました。全く知らない者同士が同じ曲を聞きながら、当時のこと、歌のことなどを語り合ったりしてあたたかい交流が生まれていました。人と人を繋げるツールはいろいろあって、たくさん選択肢があればより多くの方と繋がっていけるかもしれないと思いました。



白石さん

